

平成27年度 新規事業候補箇所の選定の考え方

平成27年 3月 4日

第12回近畿地方小委員会

国による 直轄事業

① 高規格幹線道路における国による新設・改築事業

過去に選定した事業： 一般国道158号 中部縦貫自動車道 大野油坂道路(和泉・油坂区間) [H23.11.8審議]
一般国道 42号 新宮紀宝道路 [H25.4.22審議]
一般国道 42号 すさみ串本道路 [H26. 3. 5審議]

今回の候補とする事業：一般国道158号(中部縦貫自動車道) 大野油坂道路(大野・大野東区間)

② 高規格幹線道路以外の直轄国道における新設・改築事業

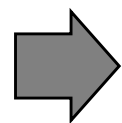
過去に選定した事業： 一般国道163号 木津東バイパス [H23.1.17審議]
一般国道165号 香芝柏原改良 [H23.1.17審議]
一般国道 24号 寺田拡幅 [H25.4.22審議]

今回の候補とする事業：一般国道161号 湖西道路(真野～坂本北)

③ 補助国道における国の権限代行による新設・改築事業

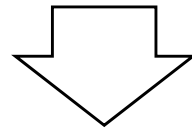
過去に選定した事業： 一般国道168号(五條新宮道路)長殿道路 [H24.1.20審議]
一般国道168号(五條新宮道路)風屋川津・宇宮原工区 [H25.4.22審議]

今回の候補とする事業：一般国道312号 大宮峰山道路

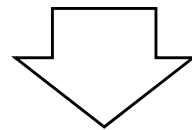


①～③ のそれぞれの分野について、選定の考え方を示して、
新規事業候補箇所を選定

①高規格幹線道路における国による新設・改築事業

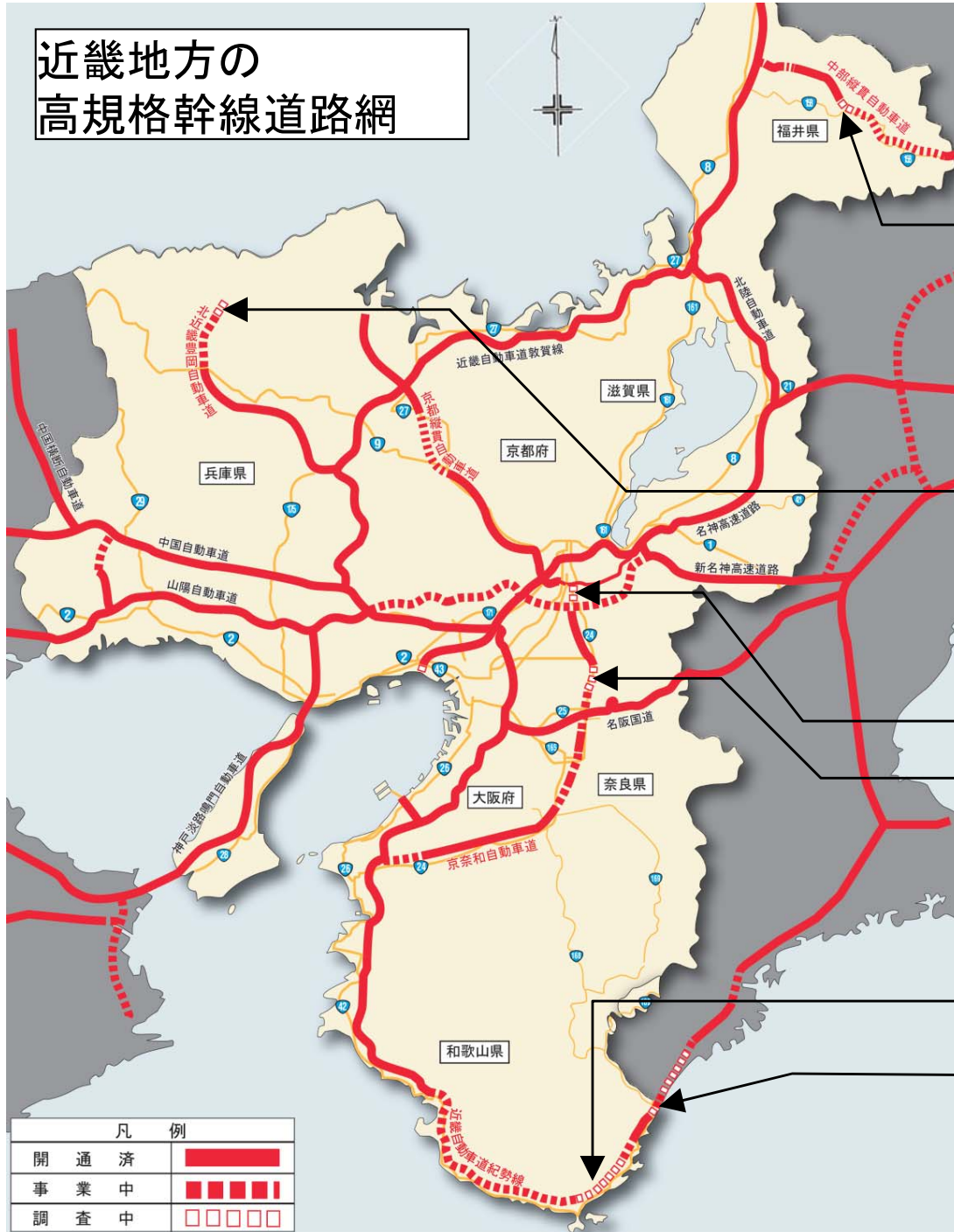


地域づくりとの連携を図り、地域における道路の位置付けや役割を確認した上で、事業実施環境（都市計画、環境影響評価等）が整っている箇所のうち、各事業の事業効果や緊急性、予算の状況等を踏まえて選定。



近畿地方のミッシングリンクにおける未事業化区間（①高規格幹線道路）

近畿地方の 高規格幹線道路網



中部縦貫自動車道 大野油坂道路

・大野～大野東 : 5km

北近畿豊岡自動車道

・豊岡北～豊岡南 : 7km

京奈和自動車道

・巨椋JCT～城陽JCT : 6km

・奈良北～奈良 : 6km

近畿自動車道 紀勢線

・串本～太地 : 19km

・新宮～新宮北 : 5km

平成27年度新規事業候補箇所の選定の考え方（①高規格幹線道路）

■高規格幹線道路（高速自動車国道）

府県名	路線名	区間	延長	ルート・構造の検討状況	都市計画の状況	環境影響評価の状況	備考
和歌山	近畿自動車道紀勢線	串本～太地	19km	検討中			
和歌山		新宮～新宮北	5km	検討中			

■高規格幹線道路（一般国道自動車専用道路）

府県名	路線名	区間	延長	ルート・構造の検討状況	都市計画の状況	環境影響評価の状況	備考
福井	中部縦貫自動車道	大野～大野東（大野油坂道路）	5km	確定			
京都	京奈和自動車道	巨椋JCT～城陽JCT	6km	検討中	未	未	
京都 奈良		奈良北～奈良	6km	確定	完 （京都：H20.4） （奈良：H20.3）	完 （京都：H20.4） （奈良：H20.3）	大深度トンネル構造のため、コスト縮減の検討が必要
兵庫	北近畿豊岡自動車道	豊岡北～豊岡南	7km	検討中	実施中	実施中	



中部縦貫自動車道 大野～大野東区間をH27年度新規事業化候補箇所に選定

中部縦貫自動車道

広域図



- 開通済
- ■ ■ 事業中
- □ □ 調査中

平成27年度新規事業候補箇所の選定の考え方（②直轄国道）

対象事業：高規格幹線道路以外

直轄管理区間における対策未実施区間



全国的な政策課題に照らし必要性を確認

道路の防災・震災対策の観点からの必要性

- 近年大規模災害による被災有り
- 事前通行規制区間、防災点検要対策箇所など災害に対する脆弱性を有する区間
- 津波浸水想定区域が存在 等

円滑な都市・地域活動の観点からの必要性

- 地域の協議会等において特定された「主要渋滞箇所」 等

地域固有の課題解消の観点からの必要性

- 地域の協議会等において特定された「事故危険区間」 等



具体的な対策方針が決定している区間



改築事業としての事業実施環境が整っている区間

一般国道161号 湖西道路(真野～坂本北)

平成27年度新規事業候補箇所の選定の考え方（②直轄国道）

② 高規格幹線道路以外の直轄国道における新設・改築事業の選定フロー

【対策未実施区間(新規事業候補対象区間*2)の抽出】

1. 近畿の直轄国道全線(約1,900km)
 ○H22道路交通センサス区間のうち、バイパス等抜本的対策が事業中の箇所を除く
 【1,117区間】

【新規事業候補区間*2の抽出】

2. 課題箇所の抽出 【688区間】

① 渋滞 主要渋滞箇所・区間*1 が存在する区間*2 【313区間】	② 事故 事故危険区間が存在する区間*2 【439区間】	③ 通行規制 異常気象時事前通行規制区間が存在する区間*2 【45区間】	④ 災害 防災点検要対策箇所及び津波浸水想定区域に該当する区間*2 【211区間】
---	------------------------------------	--	---

3. 具体的な対策方針が決定している区間 【124区間(6箇所)】
 ○計画が確定している区間

① 渋滞 【66区間】	② 事故 【77区間】	③ 通行規制 【1区間】	④ 災害 【67区間】
-------------	-------------	--------------	-------------

4. 事業実施環境等の確認 【5区間(1箇所)】
 ○ルート・構造の検討状況、近接区間の事業状況等を考慮して、事業実施環境が整っている区間

① 渋滞 【3区間】	② 事故 【3区間】	③ 通行規制 【0区間】	④ 災害 【0区間】
------------	------------	--------------	------------

○H27新規事業化(候補)箇所
 一般国道161号 湖西道路(真野～坂本北)

【抽出指標】

課題	評価指標		備考
① 渋滞	主要渋滞箇所・区間*1	主要渋滞箇所が確認されている区間	主要渋滞箇所公表資料(平成24年度)
② 交通安全	事故危険区間	事故ゼロプランにより選定されている区間	地域の委員会等で特定された区間
③ 通行規制	異常気象時事前通行規制区間	異常気象時に事前通行規制を実施する区間	近畿地方整備局が指定した事前通行規制区間
④ 災害	防災点検要対策箇所	防災点検要対策箇所が存在する区間	道路防災点検により要対策とされている箇所
	津波浸水想定区域	自治体が公表するハザードマップなどにより津波被害が想定される区間	最新の公表済みハザードマップ(津波)

区間*1には、交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む

区間*2は、H22道路交通センサス区間

③補助国道における国の権限代行による新設・改築事業



○ 事業の緊急性が高く、国の整備を要望されている路線であり、権限代行の要件※に合致し、事業実施環境が整っている箇所。

※権限代行の要件

- A 全国的な幹線道路網整備の観点から特に重要なもの
- B 都道府県による効率的な施工が困難な事業

抽出箇所数 : 1箇所

(京都府 一般国道312号 大宮峰山道路)



○ 新規事業化(候補)箇所 一般国道312号 大宮峰山道路